

成果の説明書

(氏名) 森 周子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p><u>研究上の成果</u></p> <ul style="list-style-type: none">・『健保連海外医療保障』、『週刊社会保障』に論文を寄稿した。・『社会保障研究』にドイツ住宅政策に関する「情報」を寄稿した。・国立社会保障・人口問題研究所の研究プロジェクトに参加し、2018年8月に同研究所にて中間報告をし、2018年9月にドイツにて現地調査を実施した。また、2019年3月に調査報告を行った。・志賀信夫氏（長崎短期大学）主宰のベーシック・インカム研究会（立教大学にて定期的に開催）に参加した。・芝田英之氏（立教大学）主宰の社会保障政策研究会に参加し、2019年3月に共著『新版 基礎から学ぶ社会保障』を刊行し、「ドイツの社会保障」を執筆した。・昨年度に引き続き、金成垣氏（東京大学）主宰の「世界の社会保障研究会」（東京大学にて定期的に開催）に参加し、2018年4月に共著『厚生（労働）白書を読む』を刊行し、「社会手当の展開」を執筆した。・経済社会学会東西合同部会（名古屋学院大学丸の内キャンパス）にて、2018年6月9日に研究報告「戦後ドイツ年金保険の展開に関する考察」を行った。・昨年度に引き続き、生活経済政策研究所の比較労働運動研究会（自治労会館にて定期的に開催）に参加した。・健康保険組合連合会が主催する「ドイツ医療保障制度に関する研究会」に参加した。 <p><u>教育上の成果</u></p> <ul style="list-style-type: none">・2年ゼミを自主的に開催し、社会政策・社会保障に関する基本文献を輪読した。・3年ゼミ生3チームが日本学生経済ゼミナール関東大会（インナー大会・中央大学）のプレゼンテーション部門予選に出場した（2018年10月7日）。さらに、本学地域政策学部主催の三扇祭プレゼンテーション大会にも出場し、1チームが準優勝した（2018年11月1日）。・高崎経済大学大学院地域政策研究科「地域活性化特論（担当：増田正）」（高崎経済大学）において、街活性室（埼玉県鴻巣市）代表取締役・斎藤徹氏と合同で「地域づくりと社会保障」という講義を1コマ担当した（2018年10月22日）。・経済社会学会自由投稿論文の査読を担当した（2018年4月）。・佐藤公俊ゼミナールと合同ゼミを開催し、プレゼンテーション大会を行った（2018年9月20日）。・日本大学法学部の山村りつゼミ（社会保障・社会福祉）と日本大学法学部にて合同ゼミを開催し、プレゼンテーション大会を行った（2018年12月22日）。・4年ゼミ生の論文が地域政策学部学生懸賞論文の優秀論文賞を受賞した（2019年2月6日）。・街活性室株式会社（埼玉県鴻巣市）と3年ゼミ生とのコラボレーション企画として、埼玉県鴻巣市の視察および行政職員へのまちづくり提言プレゼンテーションを行った（2019年2月12日、21日）。	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・前年度に引き続き、2018年11月まで、生活経済政策研究所が発行する雑誌『生活経済研究』にリレーエッセイを連載した。・前年度に引き続き、経済社会学会理事を務めている。	

- ・前年度に引き続き、日本経済学会連合評議員を務めている。
- ・前年に引き続き、高崎市公民館運営審議会委員を務めている（2019年6月まで）。
- ・前年に引き続き、高崎市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員を務めている（2020年3月まで）。
- ・2018年5月より、社会政策学会秋季大会企画委員会副委員長、および、社会政策学会幹事を務めている。

3 次年度以降の計画・抱負

研究面

- ・前年度に引き続き、「世界の社会保障研究会」（東京大学にて定期的開催）に参加する。
- ・戦後ドイツ年金政策に関する著作をまとめる。

教育面

- ・3年ゼミでは、ゼミ生が日本学生経済ゼミナール大会のインター大会（全国大会）、インター大会（関東大会）、厚生労働省主催の年金広報コンテスト、および、地域政策学部プレゼンテーション大会に出場する予定である。それらに向けたサポートを昨年度に引き続き行っていく。また、秋か冬頃に他ゼミと合同ゼミを行いたい。
- ・社会政策・社会保障の第一線で活躍する方々をお招きしたゲスト講義を数回実施する予定である。また、ゼミ生の興味関心に合わせたフィールド調査も数回実施したい。
- ・指導下の大学院生の研究指導に注力する。